

2012 新春市民文芸

新春にあたり、俳句と短歌、川柳を募集したところ、俳句の部では921人の方から1,407句（うち小・中学生871人から1,260句）、短歌の部では38人の方から98首、川柳の部では35人の方から104句の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。

俳句の部は加古宗也氏、短歌の部は斎藤すみ子氏、川柳の部は肥後勇氏に審査していただいた結果、次の皆さんが入選されました。おめでとうございます。

◆特選◆

俳句（入選作品）

青春にタイムスリップ今朝の春

永吉町 石川 とみ子

回し読む孫の賀状の夢大き	江原町	村松	昌子
勝独楽の地に根付きたる唸りかな	下羽角町	服部	芳子
百坪の畑は宝鍬始	下羽角町	濱嶋	君江
百歳も玄孫も揃ひ初詣	住崎三丁目	青山	興子
太箸やまず箸置は青磁とす	西幡豆町	鈴木美江子	
乳搾り牛舎にて祝ぐ雑煮の座	花蔵寺町	三浦	貞子
八十二齡賜はり初詣経	駒場町	信川	芳枝
千代紙の赤きを撰りて初御籤	つしが丘公園	古賀	敦子
親戚はみんな西尾市賀状書く	一色町	粕谷	弘子
鏡餅小振りとなりて核家族	家武町	神取	和子
畳屋の太針光り縫い初	会生町	大竹喜代子	
今も使ふ井戸や若水ほのぬくし	上羽角町	乙部	妙子
癖文字の一句だけなる年賀状	川口町	山本	絢子
頑張れを相言葉とし去年今年	幸町	吉見	ひで
生き延びてわれ七回目の年男	永吉町	石川	英一
万歳や一市三町合併す	熊味町	蓮沼	健
神鳩を追う兎逃げる兎初転び	鶴舞町	牛山	充

◆特選◆

川柳（入選作品）

豊饒と顎で歳喰うお正月

家武町 神取 和子

正座することもなくなり初の釜	桜町	太田	由美
新しき宛て名に届く年賀状	江原町	村松	元彦
初写真猫とてカメラ目線して	川口町	山本	絢子
年賀状丸字の人の無き淋し	中畑町	塩谷	直子
元日や巾着上げて孫の来る	寺津町	内田	京子
天敵の雑煮に入れ歯大慌て	永吉町	石川	とみ子
芝踏むや媪七十の初ゴルフ	和気町	犬塚	房江
円高になってもハワイ遠い国	矢曾根町	佐藤	哲也
年賀状メールで済ます時の人	丁田町	川口	實
万歩計持って八十路の年始め	幸町	吉見	ひで
一年の計をまとめる風呂の中	鎌谷町	手島よし江	
沓脱ぎにちよいと手を借る老となり	米津町	米津喜三子	
学生は一に婚活二に就活	米津町	沢戸	守
傘寿尚でんぐり返し自彊術	天竹町	鈴木マツエ	
メタボ腹すぐに箸置く節料理	鶴ヶ池町	富永	幸子
姑越せぬ嫁には負ける節料理	駒場町	信川	芳枝
偕老や同床異夢の寝正月	永吉町	石川	英一

短歌 (入選作品)

◆特選◆

暁の空気冴えいる鐘楼に平成二十四年初の鐘撞く

中原町 藤井 美智子

三陸の沖に立つ波金色に染めて鎮魂の初日昇らん

下道目記町 榊原はる子

賛否越え町村合併恙なし三河の海に初日耀う

下羽角町 石川 保一

町内の最古なる夫はなを覆鑠と生き氏神詣で

会生町 大竹喜代子

災害のなきこと願ひ除夜の鐘世界にひびけと強く撞きけり

下羽角町 濱嶋 君江

わさび田をめぐれる水は冷たからん今朝あたらしき山山の雪

東幡豆町 岡田真木子

半月をかけて隈無く掃除して老いし二人は春を待つなり

米津町 沢戸美代子

雑煮椀の朱を拭く白絹色変わらず母の遺訓を守り続けむ

米野町 長谷 キヨ

屠蘇の膳たった一つの盃に一人歩きの臍を固めぬ

寺部町 石田フキ子

吾を待つ畑のありて新しい地下足袋買い換う七十路なかば

野々宮町 川上 信子

生き延びて今年も曾孫のお年玉名前書き込む健やかにあれ

東幡豆町 三浦よしゑ

太き竹組みて作りし大風は泰然と舞ふ初の御空を

鶺鴒池町 富永 幸子

お年玉身障の孫に渡す手にありがとと答え我涙する

楠村町 前田 伸子

天災に頑張る人ら助け合う事を知りたる去年今年なり

幸町 吉見 ひで

新しき年は明けたり徐に舞台の幕が開けゆくさまに

天王町 高松 満子

霊気満つる神前に座し厳肅に歳旦祭の祝詞聞きをり

江原町 村松 覚

除夜の鐘遠くに響くこの年は傘寿となりぬ穏やかにあれ

天竹町 鈴木マツエ

初勤行傘寿迎えし夫と坐す過ぎにし日々のみな美しき

花蔵寺町 三浦 貞子

小中学生俳句優秀作品

かるたとりとろうとするととられちゃう 鶴城小一年 鴨川大樹

たこあげははしるとあがるおもしろい 鶴城小一年 佐々木蘭

かるたとりわたしは四まいとりました 矢田小一年 中村真穂

おとしだまいつもくれたらいいのにな 鶴城小二年 岩井彩優里

おとしだまきよねんよりもふえてる 鶴城小二年 宮前亜衣莉

ゆきだるまつくつていとあせがでる 鶴城小二年 江崎宏斗

初日の出何でそんなにきれいな 鶴城小三年 杉浦天祥

初もうで家族みんなの行事です 鶴城小三年 手島まりあ

新年のおまいり心すつきりとん 鶴城小三年 越間彩花

おめでどううれい言葉の始まりです 米津小四年 杉浦成美

かるたとり近くにあるのにむずかしい 鶴城小四年 浅岡礼菜

おせちはねみんなで食べるとおいしいよ 鶴城小四年 本山怜奈

初夢がねこにかまれる夢だった 鶴城小五年 近藤綾音

じよ夜のかね人のぼんのう百八つ 鶴城小五年 長野佑実

おせちには家族の愛がまつてる 米津小五年 米津有麻

ふくわらい口と目ぼくにそっくりだ 矢田小六年 内田啓登

友だちと真剣勝負こま回し 矢田小六年 岩瀬達紀

いつ見ても感動するよ初日の出 矢田小六年 亀山滉貴

書き初めに願いをこめて強く書く 東部中一年 村松由都

着物着て日本のおい初詣 東部中二年 田野島尚孝

お年玉礼儀正しくもらいます 東部中二年 富田翔哉